

令和2年5月1日 発行

八葉山 天台寺 だより 第8号

天台寺本堂・仁王門保存修理工事最終報告

360年ぶりに重要文化財天台寺および仁王門がよみがえりました。平成25年9月に工事が始まり6年半かけた保存修理事業、また平成30年6月に着手した防災施設整備事業も令和2年3月に同時竣工いたしました。以下、完成写真にて報告いたします。沢山の皆様方のご支援、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



天台寺本堂は建立当初の姿に復し、屋根も杉板を重ねた「とち茸」に復原いたしました。



仁王門も建立当初の姿に復し、屋根も杉板を重ねた「こけら茸」に復原いたしました。

防災施設整備事業



パンザマスト方式避雷針



監視カメラ・人感センサー・照明・スピーカー



放水銃と消火栓



フタ開放状態の放水銃



本堂への放水銃作動状況



新築された「桂泉蔵」、菩薩形坐像や大型絵馬等展示されています。

※落慶法要は6月下旬に予定していますが、諸般の事情により規模を縮小して行う予定ですのでご理解願います。
※4月から「拝観料」1人300円（高校生以上）（団体も同じ）の支払いをお願いしています。
年間パス券1,000円もあります。

<写真提供>公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

〒028-6942 岩手県二戸市浄法寺町御山久保33 八葉山 天台寺 (TEL・FAX:0195-38-2500)

(題字「天台寺」は、南北朝時代・正平18年(1363)に奉納された銅鰐口の銘で、現存資料中寺名が記された最も古いものです。)